

第5回 豊川市公共施設適正配置計画策定委員会

日時：平成26年12月22日（月）

午前10時から

場所：豊川市役所 委員会室（本庁舎3階）

1 開会

出席 委員10名、事務局7名、傍聴6名

2 議事

（1）第4回豊川市公共施設適正配置計画策定委員会での意見について

事務局	資料1の説明。
委員長	<p>第4回策定委員会の意見はほぼ網羅されていると思います。それに対する事務局対応の説明がありました。ただいまの説明についてご意見はありますかでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。今日の議題の中で何かありましたら、重複しても構いませんので、意見を出していただけたらと思います。資料1については承認ということで、次に進みます。</p>

（2）豊川市公共施設適正配置のモデルエリア及び重点取組施設の評価について

事務局	資料2、3、4、5の説明。
委員長	<p>ありがとうございました。議論の仕方ですが、資料2、資料3、資料4と見ていき、最後に資料5を見ていきたいと思います。</p> <p>まず、資料2についていかがでしょうか。資料2については承認ということで、次に進みます。</p> <p>資料3についていかがでしょうか。モデル評価についての考え方と評価項目です。評価項目が全部で10あり、実際に評価したのが2ページ以降です。4ページ目に、総合評価ということでエリア評価のまとめとして、小坂井エリア、音羽エリア、御津エリアをモデルエリアに抽出して取り組みを進めていったらどうかとまとめています。</p>
委員	<p>考え方は良いと思いますが、気になる事があります。</p> <p>資料3の1ページに評価項目が10項目あります。そのタイトルの付け</p>

	<p>方とまとめ方が気になります。最初の1、2、3はまちづくりと書いてありますが、防災に関することで良いと思います。ソフトとハードの所ですが、一人当たりの施設面積やライフサイクルコストは、ハードとして括ることが良いのか疑問を感じます。そもそも、まとめる必要があるのか、10項目を並列にしても構わないと思います。</p> <p>最後の全体の平均を出している所で、全体の平均を出しているのか、まちづくりやソフト、ハード、市民というまとめられた項目ごとに平均を出しているのでしょうか。施設老朽度と施設劣化度は似た様な数字になってくるので、同じ様な数字が並んでも意味がないと思います。</p> <p>1 ページ目に戻ります。施設の利用率は市民意向とは言えないので、施設利用率で良いと思います。</p> <p>資料4に関わる各施設の評価についてです。偏差値で表示されていますが、偏差値よりも利用率の方が分かりやすい。資料を見て直感的に分かる数値の方が良いと思います。</p> <p>偏差値50というのは5地区の平均なのか、豊川市全体の平均でしょうか。まず、モデル地区を10地区から5地区に絞る話をしているのでしょうか。本来は豊川の中にある10地区の中で、この5地区がどう位置づけられるかがあった方が良いと思います。この数字を見ると5地区の偏差値のように見受けられます。</p>
事務局	<p>まとめ方ですが、ご指摘をいただきましたので、検討して分かりやすくしていきたいと思います。</p> <p>偏差値について、事務局サイドではこの方が分かりやすいと思い、5地区の比較ということでこのように出しましたが、ご指摘のとおり、次回までに修正したいと思います。</p> <p>10地区の平均なのか、10地区の平均なのかというご質問についてです。10地区での平均です。5地区を選んだのは、3つの重点用途である施設、庁舎、コミュニティ施設、小中学校について、この10年間で建て替えが考えられる施設が多く集まるエリアとして、これまで検討した経緯があります。</p>
委員	<p>全部を掲載すると資料が膨大になります。その辺りは参考資料にするなどして下さい。偏差値は相対的な比較でしかありません。利用率や避</p>

	<p>難所収容人数、人口の増減など、生の数字を見せた方が分かりやすいと思います。まとめた方が分かりやすいという側面もありますが、まとめることによって、返って分かりにくくなるという側面もあるということも、ご検討いただけたらと思います。</p>
委員長	<p>次回の資料に、今の意見を反映していただけたらと思います。</p>
委員	<p>レーダーチャートがありますが、これにはあまり意味がないと思います。何を判断したら良いかが分かりません。</p> <p>モデルエリアを選定して、そこで施設を検討するのは良いが、エリアが将来もそのまま永続するのか疑問があります。</p>
委員長	<p>今後10年間ということで資料が出されていると思います。事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>コミュニティの単位として中学校区としてまとめさせていただきました。中学校区はそれぞれ接しており、連携している部分もありますが、通例のコミュニティ単位として、中学校単位としているということで、ご理解いただけたらと思います。</p>
委員	<p>小学校区や駅からの距離というより、住んでいるところからの距離の方が重要です。そういう生活に近い視点が抜けているように感じました。</p>
委員	<p>2ページのソフト評価で駅からの利用率とありますが、その建物が本当に駅から利用されているのでしょうか。駅からでなくても良いと思います。</p>
委員	<p>名古屋市のような大都市では、駅からの徒歩圏内として800mで利用圏を設定しており、都市計画マスタープランにも載っていますので重要な数字となっています。一方、新都市では、公共施設から半径何百mと円を書いて、その施設がカバーする人口がどれくらいいるのかを指標としています。その方が実状に即しているという事で、新都市ではそちらを採用しています。名古屋市と新都市では指標が変わってきますし、豊川市ではどちらをとるのかということになると思います。</p>
委員長	<p>この辺は、また工夫していただけると良いと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。考え方を熟考したいと思います。</p> <p>豊川市の都市計画マスタープランの中でも、各駅を中心に拠点を形成していくという考え方があります。その一方で、地域のコミュニティを</p>

	<p>中心に考えると、外から電車を利用して施設を利用される方は少ないとも思います。駅中心の見方を直ちに無くしていくというのではなく、もう少し検討させていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>豊川市は、名古屋市と新城市の間くらいというイメージと思います。</p>
委員	<p>評価して課題が見つかって、重点事業でやっていきます、モデルエリアを作ります、という事ですが、この中で、本庁舎が一番老朽化していると載っています。基本的には本庁舎に集約していきましょうということだと思いますが、本庁舎が一番老朽化していることに疑問を感じます。</p>
委員長	<p>総合評価の平均は、全部平均してあるという事でよろしいでしょうか。軽重で、例えば、まちづくりで防災を加重平均するなど操作はしていないということですね。単純平均ですね。</p> <p>それでは、資料4も含めて議論に入りたいと思います。今、話がありました、本庁舎の評価がかなり低いという事です。それにも関わらず集約したいという点について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料4の2ページ、前回までの適正配置方針の案ということでお話しさせていただきます。機能集約は行政ニーズへの的確な対応、ワンストップサービスという点からも進めていきます。支所にあるべき機能、規模、そして支所スペースの活用も考えていかななくてはなりません。ハード面の調査をした結果、本庁舎がどの庁舎よりも築年数が古く、鉄筋の腐食が進んでいました。このようなデータをお見せしながら、今後は、最後のまとめにあるように、短・中・長期に渡って計画を策定していきたいと思えます。さらに各施設の長寿命化に向けては、次年度以降に保守保全計画を進めていきたいと考えています。答えになっていないかもしれませんが、今回は、課題を洗い出して、示させていただいた次第です。</p>
委員	<p>資料5に関係しますが、本庁舎は非常に大事な施設ですので、まずは理想的な庁舎を建てるといくら掛かるのか算出し、どのような施設があるのか、モデルを作ってはいかががでしょうか。</p>
事務局	<p>今年度の適正配置計画の中でどこまで出せるか分かりませんが、次年度以降の保守保全やロードマップを作成する中で、いろいろなご意見をいただきながら、検討することとなると思います。</p>
委員長	<p>費用、規模、機能は、今後の調査の結果もあると思います。コアになる</p>

	<p>部分の計画が早めにあると全体がわかりやすいという、委員のご意見かと思えます。</p>
委員	<p>それが先行しても困りますが、この委員会の中で共有できるイメージがあると、それから波及させて既存の施設はどうやって使うかという考え方ができると思えます。</p>
委員	<p>この資料を見ると、市庁舎を全面に出していくのならば、委員のおっしゃられたモデルを作るやり方もあると思えます。この資料を客観的に見た場合、市庁舎を建替えたいというように見えてしまいます。やり方として、市庁舎を建替える、建替えない、分庁舎でやるなど、いろいろな選択肢があると思えます。来年度、計画をきちんとやりますというならば、課題を明確にする必要はあるが、面積表の細かいことまではいらなないと思えます。ここは余っている、ここはギュウギュウ詰めであるというのが、視覚的に示された方が効果的だと思います。</p> <p>2 ページ目の右上のグラフ、庁舎施設の調査結果というグラフが、下の5つのグラフの平均値ですね。これがまとめて一番重要ですが分かりにくい。下の5つのグラフをまとめたものが、これですというのが伝わらないので、分かるようにしてほしいです。また、レーダーチャートですが、エリアのレーダーチャートより、こちらのレーダーチャートの方が、より分かると思えます。その時に、建物の劣化なのか、機能の充実なのか、どっちを重視するのでしょうかというのが、今回のポイントですというのが分かるようにしていただけたらと思えます。コミュニティのところなども同様で、まとめの図をわかりやすくしていただけたらと思えます。</p>
委員	<p>資料3の4ページ、今後10年間のモデルという事でした。住んでいる人口密度、商業地域や農業地域などの地域性も違い、生活が違います。資料4は地域単位で用途別に多機能化や複合化を念頭に置いた施設配置プランという事で、10年間のモデルという事で太線の枠組みが出されたと思えます。適正配置はエリアを区切っただけなのか、それとも、ここだけは重点的にやらなくてはいけないということの多様性があるかどうかお聞きしたい。</p>
事務局	<p>モデルエリアと3用途の重点取組を重ね合わせて総括させていただいて</p>

	<p>ています。モデルエリアの事業は地域の皆さんと話し合っ て取り組んでいきたい。また、10年間を見通して特に重視し なくてはならないのが重点用途の3用途の施設になりま す。次回にはさらに具体化した資料を出させていただきます。</p>
委員	<p>地域住民にとってそれが一番大事な事であるので、配慮 をして頂きたいと思います。</p>
事務局	<p>地域の声を幅広く吸い上げて進めていきたいと考えてい ます。</p>
委員	<p>例外もあるという事でしょうか。</p>
事務局	<p>もちろん施設の中には小中学校をはじめとした重点用途 以外にも古い施設がありますので、そのあたりはファシリテ ィの考え方にに基づき対応していきたいと思います。</p>
委員	<p>そうしますと範囲が広くなり、本当に適正に配置できる のか、という不安感もあります。</p>
委員長	<p>範囲の広がりに対して、適正配置をどのようにマッチさ せていくのかという事だと思います。</p>
事務局	<p>重点地区を決めさせていただいたのは、施設の複合化や 多機能化をするには地域住民との話し合いを持つ必要があ ります。小中学校の関係者の方、地域住民、コミュニティの 代表の方と話し合いをして、今後、小学校区、中学校区 のコミュニティをどうしたらいいかを話をしていくのが、 合意形成をする上で一番単位としてやりやすいというのが あります。そのため小中学校区を使いました。また、人口減 少の話が進んでいますが、豊川市では学校の統廃合は大 きな話はありません。しかし、周りを見ると新城市や豊 田市では山間部で複式学級の少人数の学校が点々として あります。エリアを基準に考えた時、その様な所で将来 的に継続したコミュニティとしてやっていけるのかと言 ったら疑問が残りますが、豊川市では今後の10年でエ リアを絞って地域の方と協議させて頂きながらやってい けると思っています。個別적으로는、文化施設などのコ ミュニティや学校、庁舎に関係ない施設については、横 串しではなく、それぞれの担当の課があるので、施設 の方向性をつくってあります。さらにファシリティの考 え方で、どうしてこうかというのが、この後に加わって いくと思います。特に、横串しで考えていかなければい けないのが、重点用途の</p>

	3用途であると考えています。
委員長	最終的には地域との話し合いになります。さらに、そこで新たな問題が出てくるかと思いますが、評価をもとに地域と話し合いをして、意向を汲むという方向でよろしいでしょうか。
委員	各地域の代表が集まって話し合いをするような機会はありますか。
事務局	現状では町内会や学校のPTAなどの組織がありますが、まだ、このための具体的な機会は持っていません。地域の皆さん、代表される方の意見を幅広く取り入れる体制を取っていきたいと思います。
委員	選定された3エリアで今後進んで行くと考えてよろしいですね。その場合、どういう形で住民の声を聞く場を作っていくのかということが重要ですので、しっかり考えて欲しいです。
事務局	今はイメージも資料もないので、次回までに推進体制を考えたいと思います。
委員	豊川市が合併した後、支所の空きスペースができています。支所の使い方は地域に活気を与える使い方にして欲しいです。建物に空きがあることが良くないと思います。一度に何かを求めて減らすのではなく、この地域ではこの問題が重要であるので、まずはこれを集約してやって行きましょうと一つ一つ精査していく方が、地域の方にも納得いただけると思います。
委員長	そのとおりだと思います。多機能化、複合化においては地域の意見を尊重していく方向性が重要という意見だと思います。 資料では、小坂井エリア、音羽エリア、御津エリアの3エリアが、今の所いかがでしょうかという事です。
事務局	5地区を比較した所、一番課題が多いエリアから順に提示しています。プラスアルファとして重点取組施設をオーバーラップさせて、資料5のような課題が各地区にあります。モデルエリアの評価としては、今の所この3地区ではないかと考えています。
委員	教育制度を評価する場合、良い所、悪い所、中間の評価をします。たとえば、この中でも、そのような評価はできないでしょうか。
事務局	この偏差値でも比較していただければと思いますがいかがでしょうか。
委員	エリアをそのように評価するのは難しいと思います。日本全国いろい

	<p>るなところで問題になっていることであり、良いと評価された所が果たして本当に良いのかという疑問もあります。一方で、公共施設として多機能化、複合化する時、地域に密着したよく使われている施設の事例は全国にあります。そういうものを見ながら、こんな施設が良いねと皆さんがイメージを共有できるようにすることは良いと思います。</p>
事務局	<p>次年度以降の、10年間の取り組みで優先性が高いエリア選別をしています。エリアの特徴については、偏差値だけではなく言葉でも表現したいと思います。</p>
委員	<p>西尾市のケースを紹介させていただきます。西尾市は豊川市よりも1～2年先行して進めており、今年はワークショップをしています。モデルエリアの実施計画を市民ワーキングや市でつくっていて、合併した一色と吉良地区がモデルエリアであり、各地区の方々が20人ずつ集まって同じ会場でワークショップをやりました。一色はこういう町だ、吉良はこういう町だという共通認識の上で、住民の方々が吉良や一色の中で使える物はなにか、問題は何かを話し合いました。とても良い機会であり、これを豊川市でもやっていったら良いと思います。</p>
委員	<p>モデルエリアの選定について、いらない評価は省いた方が良いでしょう。エリアの人口密度や密集度は違うので、市民からの施設評価としては、他に指標が考えられないでしょうか。逆に、そういう所に焦点を置かないでも、老朽化の視点で地区選定が出てくるのではないかと思います。</p> <p>新しい複合施設をつくって行く場合、重点取組1では、市全体の行政サービスの見直しと庁舎等の機能集約をするとありますが、本庁施設が老朽化しているという問題を解決しなければ、他の計画が空回りすると思います。老朽化した施設を補修で寿命を延ばすのか、複合施設を作っていくのか、重点取組1が具体的に見えてこないと何を話しているのかわからなくなってしまいます。重点取組1をいつまでにどのような形を題していくのかを、少なくともここで決めていかなければいけないと思います。</p>
事務局	<p>一番大きなポイントである庁舎の事を決めて行かないと他の事が決まらないというご意見だと思います。庁舎に限らず、学校も順次建替えをしていかななくてはなりません。核になる施設について、複合化、多機能化</p>

	<p>の考え方で市民の皆さんの意見を踏まえて進めていきたいと思っており、そのための絞り込みにモデルエリアを選定しています。最終評価、まとめ方の中でのモデルエリアの位置づけについては、ご意見を頂きながら検討させていただきます。</p>
委員	<p>コミュニティ施設について、小学校区、中学校区単位で話し合いを持ったかどうかという話がありました。福祉センターや市民館などは地区の方だけでなく、子育てグループやスポーツ少年団など市域全体からの利用があります。コミュニティ施設は、すべてが地域の方だけが集まる場所という考え方はどうかと思います。</p> <p>駅に近いかどうかという評価について、豊川市が将来的にコンパクトシティになると考えた時に、駅に近い公共施設の考え方は、5年、10年ではなく、もっと先の次に新たに建てる時には良いと思います。今も文化会館は、収容人数と駐車場のバランスが悪く使い切れていません。駅に近ければ駐車場が少なくても良いが、駅から遠ければ駐車場スペースが必要になります。大きなまちづくりとして、コンパクトシティなど豊川市がこういう未来を描いているという図を、どこかに載せても良いと思います。</p>
委員長	<p>コミュニティ施設に関しては、利用実態を把握した上でという意見だったと思います。また、まちづくりに関してはコンパクトシティの話も出ましたが難しい問題です。努力をしてほしいということだと思います。</p>
事務局	<p>資料5で訂正があります。御津エリアの小中学校の劣化度、老朽化度が比較的高いとなっていますが、これは偏差値が高いという事で、程度としては良いという事です。</p>
委員長	<p>この丸い円は駅からですか。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
委員	<p>まとめの所でインフラの情報は必要ないですか。例えば、諏訪地区で踏切があって渋滞をしやすいとか、土地の用途が限られる場合もあります。日常的に使う上でのインフラによる特徴などは考慮しないのでしょうか。</p>
事務局	<p>このまとめの中では、モデルエリアの評価と重点取組の評価を合わせたものであり、基盤整備の状況や課題は含んでいません。インフラにつ</p>

	<p>いても入れるべきだという事があれば考えたいと思います。考えられる項目としては、基盤整備の整備率として都市計画道路や下水などがあると思いますが、現時点ではそこまでは考えておらず、次回以降も資料として考えていませんでした。</p>
委員	<p>資料5について、エリアの評価結果は実にきれいに出来ていると思います。公共施設適正配置としましては、地域の核になっている学校から手をつけていこうと感じ取られましたが、その様な理解でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>小中学校は重要な避難場所にもなってきます。庁舎も防災時のセンターとしての機能があります。そのような観点を重視した中で評価をしました。</p>
委員	<p>まずは、そこから整備して、人的、内面的なものを加味して皆で考えていくことがベターと思いましたが、それでよろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>地域とどうコミュニケーションをとるかは今後の課題です。行政と地域の関係は、地域の人との話し合い、情報を公開して意見を聞くことが前提になっています。例えば、ごみ焼却場などの地域の人が嫌がる様な施設でも、話し合いができれば場所が決まってくると思います。</p>
委員	<p>全体の流れの確認です。大筋をこの委員会で決めて、取りまとめたものが議会で承認された後に、各地区に落として具体的な協議して実施していくという流れであっていますか。</p>
事務局	<p>大筋の流れはそのようなイメージで進めています。また、パブリックコメントをした上で公表していくことになります。</p>
委員長	<p>もし、後でお気づきの点があれば、意見書等で事務局に出していただければと思います。</p> <p>議題2については、いろいろとご意見がありましたが、その意見を資料に反映していくこととして考え方を確認しました。モデルエリアについては、評価項目や平均値の出し方について意見がありましたが、現段階では小坂井エリア、音羽エリア、御津エリアを候補としていくこととします。重点取組については、今後の課題のまとめとして方向性を確認しました。この3エリアを想定し、施設評価に基づいて出された方向性や課題について了承いただくということによろしいでしょうか。</p>

	<p>様々な意見が出ましたので、具体的な話になって行く時に、住民の方の意向や考え方、実態をなるべく反映させて計画を作っていくという考え方は確認しましたので、そのような方向性で資料作成をお願いします。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 その他

事務局	<p>次回の委員会の開催は、2月12日（木）午前10時より、同じ場所で開催します。本日の意見を踏まえた上で、赤く囲っている所を次回の主な資料として出していきたいと思っています。合わせて、適正配置計画の素案を出していきたいと思っています。よろしくお願いします。</p>
委員長	<p>これで閉会したいと思います。ご協力ありがとうございました。</p>

4 閉会